

令和4年度の重点政策

肝属郡医師会立病院の再整備支援

令和4年3月に再整備基本計画案を作成し、4月21日から住民説明会を開催。日時や場所は12ページに掲載。



サツマイモの基腐病対策を継続して実施

官民対策実験の支援として、さつまいも振興会による基腐病の原因究明と実証展示場を計画しています。

マイナンバーを活用して生活利便性向上

全国のコンビニで住民票や印鑑証明などを取得できるシステムを導入。現行の福祉タクシー利用券をマイナンバーで利用する実証実験も行います。



乗り合いタクシー導入に向けた検討

交通弱者の多様な移動手段確保として、乗り合いタクシーの導入実証実験を開始。同時にコミュニティバス利用者への要望調査を行って路線再編を検討。

特定事業協同組合設立に向けた支援

人手不足解消や移住促進の取り組みとして、特定事業協同組合設立に向けた説明会を開催。詳細は13ページに掲載。



認知症カフェを民間委託して体制強化

認知症当事者やその家族らが参加する集いの場「ゆゆうカフェ」の運営を民間事業者へ委託。

ふるさと住民制度による関係人口強化

一定額以上のふるさと納税寄付者を対象にふるさと住民カードを発行。公共施設の町民料金での利用や錦江町の情報発信を通じて関係人口構築を図ります。

幼児から中学生までの継続的な英語教育

幼児期からの英語教育の充実を図るため、幼稚園・保育園への外国人講師を派遣する取り組みを始めます。



令和4年度

特 集

施政方針

就任後初となる令和4年第1回錦江町議会定例会において、新田敏郎町長が示した4年間の所信表明と令和4年度の施政方針。錦江町の指針として取り組む事業概要をお伝えします。

所信表明

山積する課題と難局の前に
官民一体で政策を進める

私は昨年、8か月で4千人を超える町民の皆さまと意見を交換するなかで、直面する地域課題解決と将来への投資は同時並行して進めていかなければ、幸福度や行政への信頼は得られないと確信いたしました。

錦江町が誕生してから17年が経過しようとしています。この間、急激な少子高齢化、人口減少が進み、医療、介護、地域経済、交通体系など課題は山積。加えて新型コロナウイルス感染症拡大で社会全体に閉塞感が漂うなかで失敗しないことを優先するのではなく、官民一体となって知恵を絞り、修正を繰り返しながら挑み続ける熱い思いを持ち続けることが重要であ

ると考えます。

海岸地域、中山間地域、山間森林地域の3つに大別される錦江町。標高差500mの地形に88自治会、10地区公民館というコミュニティが形成され、約7千人が生活しています。「人が信頼でつながり小さな幸せを積み重ね、人に投資するまち」を政策実行方針に掲げ、対話を重ねながら町民の皆さまと問題意識を共有し、ともにこの時代の難局に明るい兆しを見出すため全力を尽くします。町民の皆さまのご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げ、所信表明とさせていただきます。

施政方針

働く世代の元気

- U-1ターンへの受入窓口一元化
- 短期の労働需要に対応するための特定地域づくり事業協同組合の整備
- 中長期の労働需要に対応する育成型・のれん分け雇用支援組織の官民出資による設立に向けた調査検討
- 畜産飼料の地域内生産化に向けた国産濃厚飼料の生産、買取に向けた実証ほ場設置などの取り組みを支援
- 農業の生産性向上に向け新たな農地整備事業を創出し、農地集積や作業効率化を推進
- 葉タバコ廃作後の転換作物の栽培に向け、ごぼうや加工用ばれいしょなどの実証ほ場を設置
- 自走式ばれいしょ収穫期の導入支援によるスマート農業の推進

施政方針

高齢者・障がい者の元気

- 地域ごとの生活支援を行う下駄ばきヘルパー制度の導入
- コミュニティバスの路線再編・拡充による利便性向上を目指し、利用者の要望調査と見直しに着手
- 公共交通の脆弱な地域や交通弱者の多様な移動手段確保として乗り合いタクシーをバス再編と同時に検討
- 新型コロナウイルス感染防止対策として、クラスター発生が懸念される場合を

施政方針

子どもの元気

- 自立した人生観を育てる各世代型キャリア教育としてお仕事バイキングや夢発見プログラム、アントレプレナーシップ教育を推進
- 20歳から25歳を対象とした国内外留学支援制度創設に向けた調査検討
- 小学3年・4年生には引き続きAEAを配置し、児童生徒などの海外ホームステイも支援
- 学習機会の格差解消に向けた公営のMIRRAー寺子屋塾については、小中学生の受講料を無料化し、新たに高校生向けの公営塾を開設
- デジタル人材を育成するICTワークキャンプ事業を実施
- 愛着形成構築のきっかけづくりと

施政方針

自然・環境の元気

- 伐採届の様式変更により植林に対する理解誘導を図り、植林への誘導強化と森林環境税の活用を検討
- 安心安全な水資源確保のため重要森林は寄付受入を積極的に実施
- 川上の木材資源を活用した漁場環境保全と住民参加型の学びの場創出
- 国産材利用に向けた新事業検討

施政方針

地域の元気

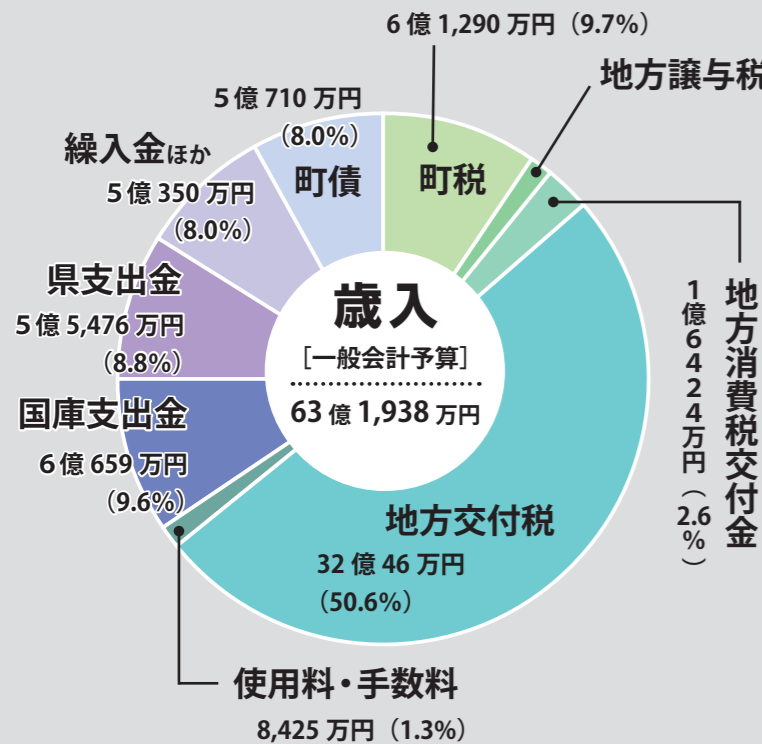
- 一歩進んだ関係人口の構築を目指し、ふるさと住民制度を創設
- 土砂災害危険地域に居住する方を優先し、年度内に災害時避難行動要支援者の個別避難計画を策定
- ハザードマップを更新し、冊子版を全戸配布、ウェブ版をホームページで閲覧できるよう運用を開始
- 好評を得る「ふるさと宅配事業」の対象期間を4月から12月まで拡大
- まちをつなぐ拠点づくりとして、まちの駅設置に向けた募集を開始
- 職員の自発的研修に向けた支援



令和4年第1回 錦江町議会定例会

3月3日の令和4年第1回錦江町議会定例会初日、「急激な少子高齢化や人口減に加え新型コロナウイルス対策と課題は山積している。官民一体で知恵を絞り、対話と情報共有で政策実現に取り組む」と所信表明を述べた新田敏郎町長。令和4年度当初予算など審議され予算総額92億5,382万円で新年度がスタートしました。

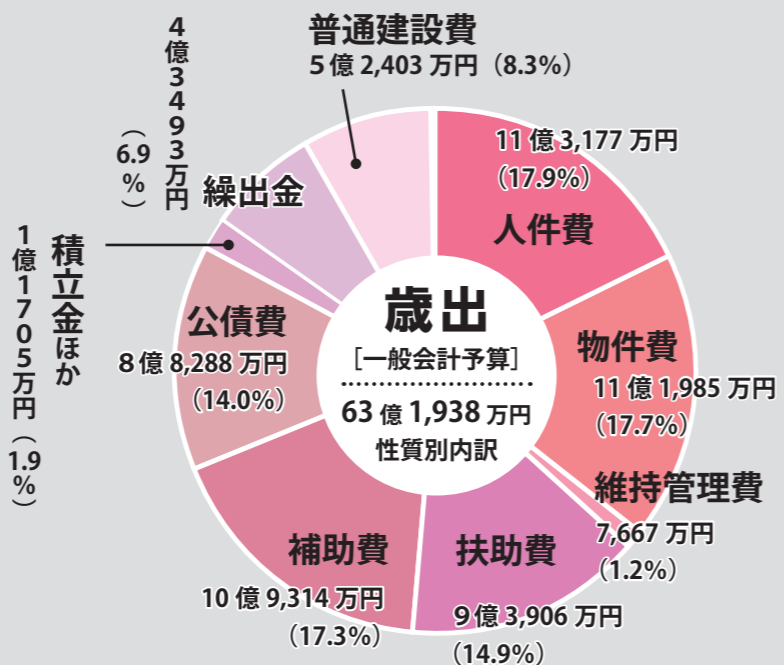




歳入 一般会計

自主財源である町税は6億1,290万円で歳入全体に占める割合のわずか9.7%。地方交付税は32億46万円、国庫支出金6億659万円、県支出金5億5,476万円となり、不足する財源は基金を取り崩して財源に充てています。地方交付税が1億956万円(3.5%)増えていますがデジタル推進費創設等による一時的なもので安定財源確保に予断を許さない状況です。

令和4年度一般会計予算 [歳入]



一般会計 歳出

歳出は前年度にくらべ1億940万円の減額。普通建設費が2億6,007万円(3.9%)減額していることが主な要因です。性質別では人件費が最も多く11億3,177万円、物件費が11億1,985万円と続きます。経常経費削減や事業見直しを図りながら行財政のさらなる効率化を進めていきます。

令和4年度一般会計予算 [歳出] (性質別)

Point 2

令和4年度の分かりやすい予算書
6月に自治会使送で全戸配布

令和4年度の各会計予算総額は92億5,382万円の前年度にくらべ3億9,481万円の減額となりました。予算書を分かりやすくまとめた冊子を全戸に配布しますのでぜひご覧ください。



▲令和4年度の「分かりやすい予算書」は6月の自治会使送便で全戸配布を予定しています

特別会計を含む令和4年度予算総額は92億5,382万円

| 一般会計 | | 63億1,938万円 |
|------------------------|-------------------|------------|
| 特別会計 (6事業) | | |
| 国民健康保険事業 | 13億4,264万円 | |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 1億4,273万円 | |
| 介護保険事業 (保険事業勘定) 特別会計 | 12億5,638万円 | |
| 介護保険事業 (サービス事業勘定) 特別会計 | 601万円 | |
| 簡易水道事業特別会計 | 1億1,954万円 | |
| 農業集落排水事業特別会計 | 6,714万円 | |
| 令和4年度の予算総額 | 92億5,382万円 | |

一般会計当初予算レポート

3月議会最終本会議で令和4年度当初予算が可決

63億1,938万円

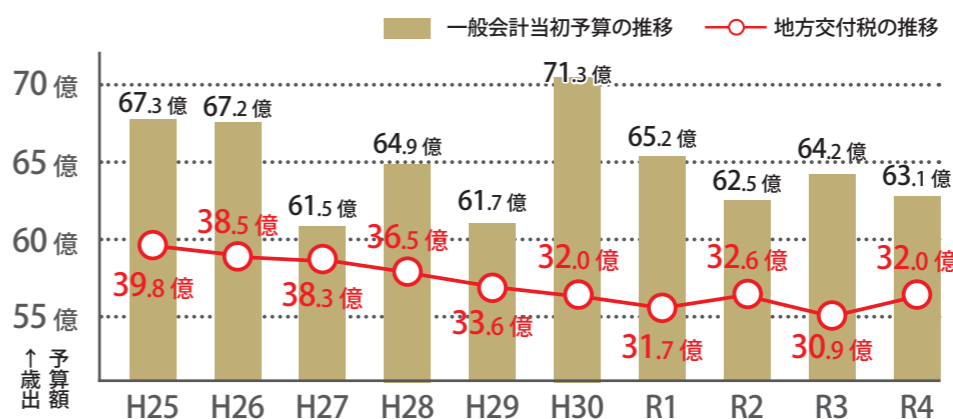
前年度比約1億940万円の減となった令和4年度一般会計当初予算。「人が信頼でつながり、幸せを積み重ね、人に投資するまち」を目指す、持続可能なまちづくりに向けた予算を施政方針に沿ってお伝えします。

第1回錦江町議会定例会で可決された今年度の一般会計当初予算総額は63億1,938万円と、前年度比1億940万円の減となりました。歳入は自主財源である町税を約6億円程度と見込んでいますが、予算全体に占める割合は1割にも満たない厳しい状況。収束の見えない新型コロナウイルスの影響によつてはさらに厳しい状況が続くことも予想されます。一方で依存財源である地方交付税は約32億円と歳入の半分を占めることから、国への依存度がかなり高い状態と言えます。さらに市町村合併の特例として、合併前の規模で地方交付税を算定する優遇特例措置は合併後10年目から段階的に減らされ、令和元年度でついに終了。今後は規

模相応の交付となりますが、人口推計によると令和22年の錦江町総人口は3千人台まで減少すると予測され、交付税増額は期待できないことから自主財源の確保が喫緊の課題であることには変わりありません。まちの体力を表すと云われ、「1」に近いほど自力があり低いほど国への依存度が高いとされる財政力指数は0・19と類似団体にくらべても低水準です。財政力指数でみても依存度が高い状況が続く錦江町。健全財政を維持するには、施設の集約化や適正な人員配置による人件費抑制など抜本的な行財政改革と、危機的状況を乗り越えようとする一人ひとりの意識改革が重要な鍵を握ります。

一般会計予算額と地方交付税の推移

平成25年～令和4年(10年間)



令和4年度

令和4年度一般会計当初予算の概要と地方交付税の推移、行財政改革を進める錦江町の財政状況をお伝えします。

当初予算

5割を占める地方交付税
自主財源確保が喫緊の課題

Point 1

財源の5割を依存する

国からの地方交付税

地方交付税は合併による優遇措置、段階的に減少する合併算定替激変緩和期間も終了。自治体規模相応の交付となるため今後は減少する見込みですが、新たに「地域デジタル社会推進費」が創設されたことなどが要因として令和4年度は3.5%増の32億円と分析しています。

新規採用職員

一般枠、社会人枠を含めた5名の新規採用職員が各課に配属され4月からそれぞれの業務がスタートしました。自己紹介と決意もあわせて錦江町の新戦力をご紹介します！

Point 3

一部職員はオンライン参加
年度初め式で町長が訓示



4月1日、辞令交付後の年度初め式において新田町長が「政策実現には熱い思いを持ち続けることが重要。知恵を絞り、失敗を恐れず挑戦を続けてほしい」と、職員に訓示を述べました。



ながたに・みゆ
永谷 美優 (24)

錦江町職員として勤務することになりました。鹿屋市出身で前職は特産品の製造・販売等を行っていました。これまでの経験を活かし錦江町発展の為に誠心誠意励みますのでよろしくお願い致します。

観光交流課 観光交流チーム (鹿屋市)



うちくら・しょうたろう
内倉 将太郎 (21)

鹿屋市出身の内倉将太郎と申します。錦江町で勤務できることを大変嬉しく思っております。錦江町の皆さまが笑顔になれる機会を少しでも多く作れるような職員を目指して精一杯頑張ります。

教育課 生涯学習チーム (鹿屋市)



ふるかわ・こうき
古川 公規 (31)

4月より錦江町職員として勤務することになりました。霧島市出身で去年まで福岡で鉄道関係の仕事をしていました。分からないことが多く至らないことばかりではありますが、誠心誠意がんばります。

健康保険課 保険チーム (霧島市)



つぼうち・ななこ
坪内 なな子 (22)

祖父母の住む錦江町で働けることになり喜びを感じています。まだまだ分からないことばかりですが、町民の皆様から信頼され、頼られる職員を目指し頑張っていきます。よろしくお願いします。

政策企画課 政策企画チーム (鹿児島市)



ほんむら・たかひろ
本村 貴浩 (26)

錦江町の自然豊かで、あたたかい雰囲気の中で働けることを嬉しく思います。前職である医療の知識も活かしながら貢献できるように精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いします。

介護福祉課 介護チーム (鹿屋市)

意欲ある挑戦者が新たな風を吹き込む

都市圏から意欲ある2名が新たに未来づくり専門員として着任。
総勢6名の専門員が錦江町で夢実現に挑戦します！

大阪から来た大学生です。木材を使って色々なものを作っていきます。鹿児島弁に慣れておらず「えっ？」と聞き返すことが多々あると思いますがよろしくお願いします！ちなみに料理を教えてください方募集中です。



木材加工ものづくり専門員 / 所属 ▶ 産業振興課
大阪府東大阪市 / 小阪 廉 (21) ▶▶▶▶



幼少期から現在に至るまで様々なスポーツに出会い、沢山の方々とも出会うことができました。スポーツを通して子供から大人まで幅広い錦江町民の方々全員の出逢いの輪が広げられるような活動に取り組みます！

コミュニティスポーツクラブ推進員 / 所属 ▶ 教育課
◀◀◀ 藤崎 花鈴 (23) / 鹿児島市

Point 4

最長3年間で夢にチャレンジ
地域おこし協力隊制度とは

総務省が進める地域活性化政策のひとつで、都市部から移住する人を自治体が募集し地域おこし協力隊として委嘱する制度。錦江町では地域課題解決に向けてテーマを設定し、未来づくり専門員として委嘱しています。意欲のある都市住民の感覚と、新たに吹き込む風を地域活性化への起爆剤として取り組んでいます。



新たな戦力を加えた107名の町職員で令和4年度がスタート

錦江町職員新体制

新たな戦力も加えた新体制で、将来に夢と希望が持てる「まちづくり」実現に向けて全力で取り組む職員を紹介します。

右肩下りの人口減少・少子高齢化時代に錦江町も合併時から下げ止まりが見えず、令和2年国勢調査の速報値によると5年間で900人以上減少し、ついに7千人を割り込みました。人口減とともに社会も大きく変化。錦江町においても職員数の適正化を図りつつ多様化する住民ニーズに対応できる人員配置と個々のスキルアップ、合理的なシステムを構築しながら行政サービス向上を進めています。

4月1日付で人事異動を行い新たに5名の新戦力も加えた錦江町の新職員体制。日々大量のデータが飛び交う情報化時代においても、その情報を使い制度を作る、そして実際に町を動かすためには「一人」の力が欠かせません。私たち職員一人ひとりが町のビジョンを描き、「夢と希望が持てるまちづくり」実現に向けて全力で取り組みます。

退職者

令和4年3月31日付で12名の錦江町職員が退職しました。内6名は4月から再任用職員として、引き続き勤務します。



舞原 利博
再任用 [産業建設課]



富尾 俊一
再任用 [介護福祉課]



今熊 武朗
再任用 [住民税課]



岩下 和文
再任用 [産業振興課]



満留 満春
退職



宮原 賢志
再任用 [建設課]



小鷹 敬志郎
再任用 [産業建設課]



福園 奈美
退職



船迫 小百合
退職



大崎 いずみ
退職



壹岐 理津子
退職



牧之瀬 政範
退職

教育委員会 教育長 畑中 清和

| 課等 | 課長等 | 課長補佐等 | チーム名 | チームリーダー | チーム員 |
|------|-------|-------------------|------|---------|-----------------------|
| 教育課 | 菅浦 洋二 | 尾崎 裕樹 (指導主事) | 教育総務 | 白井 寿子 | 長濱 幸治 川前 亮 萩原 修平 |
| | | | | | ▼以下学校給食センター |
| | | | | | 柿迫佐由美 牧 奈津美 柳田 里美 |
| | | | | | 馬込さつき 有村みゆき 新村あけみ [再] |
| | | | | | ▼以下小中学校 |
| | | | | | 川邊 孝一 牧原 幸司 渡辺久代 [再] |
| 生涯学習 | 舞原 千昭 | 有村なり子 [再] | | | |
| | | 牧原 弘弥 淵田由紀子 内倉将太郎 | | | |
| | | 邊志切祐希 (国体) | | | |

| 議 会 | | | | | | |
|-----|-------|--|--|--------|-------|--|
| 議長 | 笹原 政夫 | | | | | |
| 副議長 | 落司 道子 | | | | | |
| 事務局 | 永吉 和幸 | | | [平石 誠] | 杉木 鈴奈 | |

| 監査委員 | | | | | | |
|-----------|--------|--|--|------|---------|--|
| 代表監査委員 | 中村 貢 | | | | | |
| 監査委員 (議会) | 浪瀬 亮祐 | | | | | |
| 事務局 | [永吉和幸] | | | 平石 誠 | [杉木 鈴奈] | |

| 農業委員会 | | | | | | |
|-------|---------|--|--|------|------------|--------|
| 会長 | 宿利原勝吉 | | | | | |
| 事務局 | [池之上和隆] | | | 永田宗成 | 折久木まり子 [再] | [鶴田 明] |

| 選挙管理委員会 | | | | | | |
|---------|---------|-------------|--|--|--------|--|
| 委員長 | 渡瀬 博夫 | | | | | |
| 事務局 | [坪内裕二郎] | [川路洋志] (次長) | | | [岩崎史教] | |

| 鹿児島県 (派遣職員) | | | | | | |
|-------------|--|--|--|-------|--------|--|
| エネルギー政策課 | | | | 平石龍之介 | (総務課付) | |

錦江町役場 電話番号一覧表

| 課名等 | チーム名等 | 直通番号 | 備考 | 課名等 | チーム名等 | 直通番号 | 備考 | |
|----------|---------|-------------------|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 総務課 | 総務 | 代表電話 ☎ 22-0511 | 本庁 2階 | 社会福祉協議会 | | | ☎ 22-2000 | 本庁 1階 国道側 |
| | | | | 福祉 | ☎ 22-3042 | | | |
| | 介護福祉課 | 介護 | ☎ 22-3043 | | | | | |
| | | 包括支援センター | ☎ 22-3030 | | | | | |
| 議会・監査事務局 | 選挙管理委員会 | ☎ 22-3045 | 本庁 3階 | 健康保険課 | 保険 (国保) | ☎ 22-3041 | | |
| | | | | | 保険 (衛生) | ☎ 22-3044 | | |
| 政策企画課 | 政策企画 | ☎ 22-3032 | 本庁 2階 | 住民税務課 | 税務 | ☎ 22-3037 | | |
| 産業振興課 | 会計課 | ☎ 22-3038 | 本庁 1階 | 教育課 | 住民 | ☎ 22-3039 | | |
| | | | | | 教育総務 | ☎ 22-0517 | | |
| | | | | | 生涯学習 | | | |
| | | | | | 文化センター | | | |
| 建設課 | 建設 | ☎ 22-3033 | 本庁 1階 東側 | 観光交流課 | 観光交流 | ☎ 28-2488 | | |
| | | | | 住民生活課 | 民生 | ☎ 25-2511 | | |
| | | | | 産業建設課 | 経済建設 | | | |
| | 住宅 | | | 未来づくり課 | 未来づくり | ☎ 25-1001 | 旧神川中学校跡 | |

町長部局

| | |
|-----|-------|
| 町長 | 新田 敏郎 |
| 副町長 | 有村 智明 |

職員配置図

本庁 〒893-2392 肝属郡錦江町城元 963/ ☎ 0994-22-0511/FAX0994-22-1951

| 課等 | 課長等 | 参事・課長補佐等 | チーム名 | チームリーダー | チーム員 |
|--------|--------|---------------------|-------|---------|---|
| 総務課 | 坪内 裕二郎 | | 総務 | [坪内裕二郎] | 山王 洋介 (総務担当) 小川 弘晃 松元美菜代 今村 学 田尻 健太 黒瀬 慎吾 岩崎 史教 |
| 未来づくり課 | 中島 裕二 | | 未来づくり | 久保 伸一 | 鍋田 美和 阿多 千尋 |
| 政策企画課 | 高崎 満広 | 内木場博之 (病院再整備対策監) | 政策企画 | 上吹越寿次 | 馬庭 司 小原 慎吾 福島 敬晃 坪内なな子 |
| 住民税務課 | 落司 毅 | | 税務 | 福園 正夫 | 藤崎みづえ 徳永 雅信 濱田久美子 神川 工樹 今熊武朗 [再] |
| | | | 住民 | 磯元 隆宏 | 山下 知幸 原田 理穂 牧原 香陽 磯口ちどり [再] |
| 介護福祉課 | 笹貫 新一郎 | 社会福祉協議会 | 福祉 | 濱田 竜大 | 徳永 勝志 小川 剛 |
| | | | 介護 | 池水 国博 | 竹井真知子 金川 美穂 本村 貴浩 |
| 健康保険課 | 猪鹿倉勝志 | | 健康増進 | 長濱あけみ | 中村 奈々 切通 淑美 中山 美佳 富尾俊一 [再] |
| | | | 保険 | 中野好太郎 | 上吹越智子 持留 斗 古川 公規 |
| 産業振興課 | 池之上和隆 | 押領司浩二 (農政技術補佐) | 経済 | [押領司浩二] | 水流 賢一 時吉 健二 祝 大介 田中 光 |
| | | | 生産振興 | 坂口美智代 | 小川 純一 樽木 勇利 |
| | | | 基盤整備 | 畠中 裕文 | 岩下和文 [再] |
| 建設課 | 宮園 守 | 船迫 修一 (土木技術補佐) | 建設 | [船迫修一] | 袖山 仁志 迫 尚樹 宮原賢志 [再] |
| | | | 住宅水道 | 篠原 稔 | 桑原 直也 笑喜 和也 榎木 慶太 |
| 会計管理者 | 鳥越 幸一 | | | | |
| 会計課 | [鳥越幸一] | | 会計 | 壺崎 浩二 | 山元 大志 |

※令和4年4月1日から組織改編により、農業委員会を産業振興課内に設置しました。

田代支所 〒893-2492 肝属郡錦江町田代麓 827-1/ ☎ 0994-25-2511/FAX0994-25-2668

| 課等 | 課長等 | 課長補佐等 | チーム名 | チームリーダー | チーム員 |
|-------|--------|-------|------|---------|--|
| 支所長 | 川路 洋志 | | | | |
| 観光交流課 | 木下 勝幸 | | 観光交流 | 宿利原伸一 | 壹岐 英星 永谷 美優 |
| 住民生活課 | [川路洋志] | | 民生 | 川路 昭典 | 鶴田美由紀 馬場 満博 田代 眞介 前野 真隆 上園ひとみ [再] |
| | | | 税務地籍 | 山本 昭八 | 大浦地 毅 原澤 政徳 鶴園健郎 [再] |
| 産業建設課 | 荒木 義文 | | 経済建設 | 鳥井ヶ原宣義 | 鶴田 明 松尾 洋一 時吉 良美 小鷹敬志郎 [再] 舞原利博 [再] |